令和６年度　学校教育目標等

教育局	石　狩	学　校	北海道恵庭南高等学校	課　程	全日制課程

１　学　校　教　育　目　標

知・徳・体の調和のとれた人格の完成を目指し、平和で民主的な社会の形成者として、真理・正義を愛し、個人の価値を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、勤労と責任を重んずる心身ともに健康な人物を育成する。

【校訓】　「自主・協同・創造」

２　スクール・ミッション

(1) 個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質･能力を身に付けた生徒の育成
(2) 健康的な生活習慣を身に付け、自ら考え主体的に判断し行動できる生徒の育成
(3) 主体的に学び確かな学力を身に付け、多様な活動を通して調和のとれた人間性を醸成し、地域社会に寄与できる人材を育成

３　３つの方針（スクール・ポリシー）

普通科

○育成を目指す資質・能力に関する方針
①自己の可能性を最大限に広げ、夢や志を実現する力を育成します。 ②自ら学ぶ意欲を育み、自ら考え判断し、適切な行動ができる力を育成します。 ③確かな学力を身に付け、様々な人と関わり誰とでも協働できるしなやかな人間性を育成します。
○教育課程の編成及び実施に関する方針
①一人一人の興味・関心に対応した幅広い選択科目を設定し、少人数制を導入しきめ細やかな学習指導を行います。 ②生徒個々の目標に対応したキャリア教育や進路指導を行います。 ③ホームルーム活動や学校行事、部活動等において人間力を養う活動を行います。
○入学者の受入れに関する方針
次の全てを満たす生徒 ①基本的生活習慣と基礎学力が身についている生徒を募集します。 ②学業と体育・文化活動等の両立に努めようとする生徒を募集します。 ③個性を認めあい、他者と協働して粘り強く努力する生徒を募集します。 ④明確な進路目標を持ち、その実現に向け努力する生徒を募集します。

体育科

○育成を目指す資質・能力に関する方針
①自己の可能性を最大限に広げ、夢や志を実現する力を育成します。 ②生涯スポーツの担い手として地域社会で活躍する力を育成します。 ③確かな学力を身に付け、様々な人と関わり誰とでも協働できるしなやかな人間性を育成します。
○教育課程の編成及び実施に関する方針
①一人一人の個性を生かすとともに体育科専門科目を設定し、高度で質の高い学習指導を行います。 ②実践力を育てる問題解決型の総合演習や体験活動の実習を行います。 ③大学や専門学校との連携により、専門性の高い最新のスポーツ科学を学びます。
○入学者の受入れに関する方針
次の全てを満たす生徒 ①体育科に関する高い適性、興味・関心を持っている生徒を募集します。 ②文武両道を目指す意欲と態度を身に付けている生徒を募集します。 ③個性を認めあい、他者と協働して粘り強く努力する生徒を募集します。 ④明確な進路目標を持ち、その実現に向け努力する生徒を募集します。

４　指 導 上 の 重 点 事 項

重点目標	幅広い知識と教養、豊かな人間性、健やかな身体を備えた人物を育成する。 (1) 主体的に学習に取り組み、進路実現の基盤となる確かな学力を身に付けた生徒を育てる。 (2) 多様な活動を通し、グローバルで調和のとれた人間性を身に付けた生徒を育てる。 (3) 地域社会に貢献し、体育・文化活動を通して日々努力する逞しい心身をもった生徒を育てる。
学習指導	わかる喜びを実感させ、基礎・基本の確実な定着を図り、学習意欲を喚起する指導を充実させ、生きる力を育む。 (1) 学習指導の工夫・改善により、基礎・基本の確実な定着を図るとともに総合的な探究の時間の充実に努める。 (2) ＩＣＴの活用による主体的・対話的で深い学びの実践と各教科等との関連を意識した学習指導のもと授業改善に努める。 (3) 生徒個々の能力や実態に応じた学習形態や指導方法及び観点別評価の工夫・改善に努める。
生徒指導	生徒一人一人を大切にし、自己肯定感の向上を図り、充実した学校生活を実感できる指導を充実させる。 (1) 「いじめ防止基本方針」に従って機動的な組織による対応に努め、いじめ防止及び望ましい人間関係の構築と自主性、社会性の育成に努める。 (2) 自己肯定感・自己指導力の育成と規範意識の醸成に向けた指導の充実を図る。 (3) ＳＮＳ等によるトラブルの未然防止と情報モラルの育成を図る。
進路指導	組織的な講習体制を確立するなど、生徒の進路実現を支援する指導を充実する。 (1) キャリア教育の全体指導計画に基づき、正しい勤労観・職業観の育成に努め、主体的に進路を選択する能力を育成する。 (2) 講習や模擬試験など、組織的な進路指導体制の構築を図り、探究活動との関連を深める。 (3) 進路相談やガイダンスの充実を図るとともに、的確な進路情報を提供するシステムの強化に努める。
健康・安全指導	生徒の健康安全の充実に努め、自己肯定感の育成と命を守る活動の充実を図る。 (1) 体力・健康の実態を把握し、心身の健康の保持・増進に努め自らの命を守る活動の充実に努める。 (2) 校舎内外の清掃活動・美化活動の活発化を図り、清潔な教育環境の維持に努める。 (3) 交通安全意識や感染症対策を通して自他の生命を大切にし、危険を予測して適切に判断･行動できる能力と生きる力を育成する。

注　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番縦型とする。